



## SK 30 SYMPHONIC ENSEMBLE

¥390,000

中心となる機能はオルガン、ポリシンス、ソロシンスサイザー。さらにステージを意識した9種類のプリセットトーン。多彩なサウンドと演奏性を調和させた、プロ専用モデル。

ライブパフォーマンスにおけるアレイビリティを徹底追求。豊かなサウンドバリエーションと優れた操作性を身につけた第3のキーボード。シンフォニックアンサンブル。SK-30はオルガン、ポリシンス、ソロシンスサイザーの3大機能にプリセットサウンドを加えた複合モデルです。サウンドにリアリティを与えるエフェクト機能も豊富に用意して、スタジオワークからステージプレイに至るまで、鍵盤演奏の境界に挑戦します。オルガンブロックには、正弦波合成方式を採用し、16から1までの、9種類のカラーをミックスすることで、荘厳なチャーチオルガン系サウンド思いのままに、さらに2nd、3rd、5thのパーカッパの組み合わせてサウンドフルな響きをもつオルガンから、スタンダードなジャズオルガンまで、幅広い音づくりが可能です。

ポリシンスブロックには、2系列の音源を装備。ディチューニングによるハーモニーづけなど、厚みあるサウンドづくりが可能な設計です。選べる音源は、4n、8n、BP8n、8n、16n、16nの6種類。VCF・EGやブリリアンスノブなどによって、自由に音色変化をつけることができます。シンスサイズしたストリングやホーンセクションによるバッキングはもとより、3度や7度のハーモニーをつけたツインリードや、大胆なインプロヴィゼーションなど、多彩な表現が可能です。ソロシンスサイザーブロックは、1VCO、1VCF、1VCA、1EGの高音優先モノフォニックシンスサイザーにあたるもの。音源波形は矩形波とのこぎり波の2種類。これらはスライドレバーにより、自由なミキシングが可能。好みの音源波形がゆたかにとめられます。

鍵盤を押してからの音の立ち上がりゆるやかにする。ポリシンスブロックのスローアタックスイッチ。またソロシンスサイザーブロックのブリリアンス、モジュレーションなど、SK-50Dと同クラスの高度なエフェクト群を採用しています。さらに鍵盤を高音部と低音部に分割し、それぞれ異なるサウンドで演奏できるキーボードスプリットも、テクニシャンには魅力的な設計でも、アウトコントロール機能も充実。ミックスボリューム、ストリングボリューム、ポリシンスブリリアンス、サステインスイッチなど、豊富に取りそろえました。



●キヤリアグースSKC-30K  
(別売) ¥18,000



## SK 20 SYMPHONIC ENSEMBLE

¥220,000

鍵盤数61鍵。オルガン、ポリシンスの2大機能を中心に、多彩な機能で構成。キーボードの概念を塗り変えたシンフォニックアンサンブル、SKシリーズベストセラー機。

SK-20は61鍵のポリフォニックキーボード。正弦波合成方式により好みのオルガントーンをつくるオルガンセクション。倍音の多いのこぎり波や矩形波からVCFによって音色をつくるポリシンスセクションの、2大機能を中心に構成されるシンフォニックアンサンブルです。オルガンセクションには16から1まで7種類の正弦波によるカラー、および2nd、3rd、2種類のレバーカッパを装備。これらの組み合わせで幅広いオルガントーンをつくり出します。さらに細やかな音づくりのためにオルガン音のディケイ、サステインをコントロールするためのスイッチ、レバー類、トータルな

サウンドコントロールのためのブリリアンスレバーなどを装備。ポリシンスセクションにはいよいよ7音ポリフォニックシンスサイザーにあたるもの。音源はのこぎり波4' 8' 16'、バンドパスフィルター8'、矩形波8' 16'の計6種類。カットオフ周波数、レゾナンスおよびA.D.S.R方式のEGを駆使しての、自由なシンスサイジングワークが楽しめます。またアタック、サステインのレバーコントロールも可能です。これらの2大機能の他に、SK-20はライブパフォーマンスを重視して8種類のプリセットトーンを備えています。選べる音色はオルガン1.2.3、ストリング1.2、ポリシンス1.2.3、

完成度の高い音色を、ワンタッチのボタン操作で取り出せるため、ステージ上でレパートリーや曲の展開に合せ、サウンドを次つぎに切り換えることも自在。SK-20のもうひとつの大きな特徴は、キーボードスプリットを備えていること。これは鍵盤中央にあるスプリットマークを境に、高音部と低音部を分割。それぞれ異なる音色で演奏できるユニークなエフェクト。例えば高音部をオルガン、低音部をポリシンスにセットすれば、シンスサイザーベースにのったオルガンソロ。またポリシンスでやや固めのクラヴィアサウンドをつくり高音部にセット、低音部をオルガンにセットすれば異なる音色による厚みあるバッキングが可能。通常の発音数は7音ですが、キーボードスプリットを機能させると高音側7音、低音側7音の計14音が発音できるようになります。またアタック、サステインのレバーカッパが、さらにはより豊かな演奏表現がより豊かになります。



●キヤリアグースSKC-20K  
(別売) ¥18,000

鍵盤を押してからの音の立ち上がりゆるやかにする。ポリシンスブロックのスローアタックスイッチ。またソロシンスサイザーブロックのブリリアンス、モジュレーションなど、SK-50Dと同クラスの高度なエフェクト群を採用しています。さらに鍵盤を高音部と低音部に分割し、それぞれ異なるサウンドで演奏できるキーボードスプリットも、テクニシャンには魅力的な設計でも、アウトコントロール機能も充実。ミックスボリューム、ストリングボリューム、ポリシンスブリリアンス、サステインスイッチなど、豊富に取りそろえました。



## SK 15 SYMPHONIC ENSEMBLE New

¥148,000

オルガン、ストリング、ポリシンスの3大機能。ステージを意識した3種類のプリセットトーン。ひとクラスの実力を身につけた、シンフォニックアンサンブル精鋭モデル。

49鍵のシンフォニックアンサンブルSK-15。オルガン、ストリング、ポリシンスの3大機能を中心に、高級機種の機能を1台にまとめた。ライブパフォーマンスにおけるアレイビリティを高めるヴォイスセレクターはオルガン、ポリシンスおよびストリングの3種類。ボタン操作ひとつで好みの音色をとり出せます。エフェクトとしてはブライト、トレモロ、アン

サンブル、シンフルな3レレイアウトのなかにも豊かな表現力を備えたポリフォニックキーボードです。SK-15のオルガンブロックには16、8、5、4、2、1計5種類の正弦波合成方式を採用。好みのオルガントーンを自由に作り出せます。またパーカッパレバーをプラスすることで、鍵盤アタック時のアクセントをつけたり、サステインレバーによってエレクトロニック

ピアノのような効果をつくることも、自由自在です。SK-50Dや30と同様に、トータルなサウンドコントロールのためのブリリアンスレバーも装備しています。SK-15のポリシンスブロックは、音源1系列、いよいよ7音ポリフォニックシンスサイザーにあたるもの。VCF・EGはA.D.S.R方式。アタックからディケイ、リリースに至るまで、演奏者の好みにより自由に設定できるため、シンスサイザークラスの多彩な音づくりが可能です。ステージでのアレイビリティを考慮して、エフェクト系も充実。ロータリースピーカーの効果も電子回路により再現するトレモロと、モジュレーションによってコーラス効果をつくるアンサンブル。そして、エフェクトの立ち



●キヤリアグースSKC-15K  
(別売) ¥13,000



## SK 10 SYMPHONIC ENSEMBLE

¥110,000

ミキシング自在なオルガン、ストリング、プラス3系列のプリセットトーンを搭載。とくに、マルチキーボード群中の1台として最適なシンフォニックアンサンブル、ベーシック機。

49鍵ながら5オクターブをカバーするシンフォニックアンサンブルSK-10。じっくり味わった音色を身につけたポリフォニックキーボードです。選べる音色はオルガン、ストリング、プラスの3系列。オルガン系8' 4' 2'、ストリング系8' 4'、プラス系8' 4' 計7種類のトーンを

自由にミキシングすることで、最も効果的なサウンドを得ることができます。演奏表現の幅を広げるために、エフェクト系はとくに重視。メインエフェクトのブライトに加えて、3系列のそれぞれの音色について、エイズシフトによるアンサンブルエフェクトタブレット

を装備。フル編成のオーケストラをも感じさせる厚みあるコーラスは、シンフォニックアンサンブルの名にふさわしいもので、また音の立ち上がりやコントロールするアタックタブレット、減衰時間をコントロールするためのサステインタブレットを装備。例えばアタックを遅らせれば、弦楽器のレガート奏法。アタックを得ることができます。演奏表現の幅を広げるために、エフェクト系はとくに重視。メインエフェクトのブライトに加えて、3系列のそれぞれの音色について、エイズシフトによるアンサンブルエフェクトタブレット



●キヤリアグースSKC-10K  
(別売) ¥11,000